

補助事業番号 21-901

補助事業名 平成 21 年度 交通運輸手段の低炭素化に関する国際的調査研究補助事業

補助事業者名 社団法人 日本工学アカデミー

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ア. 交通運輸手段の低炭素化に関する国際的調査研究

交通運輸手段の低炭素化という国際的課題の解決のために、日本・中国・韓国の東アジア3国工学アカデミーが共同でシンポジウムを開催し、先端的科学研究の成果を取り入れた工学技術の開発や、新しい移動体システム・社会システムの構築について発表し、課題解決のための具体的な提案を導き出すことにより、循環型経済社会の構築に寄与し、かつ機械工業における国際交流を推進することを目的とする。

(2) 実施内容

交通運輸手段全体を通しての低炭素化実現するため、日中韓三国の技術者が一同に会し、先端科学研究の成果を取入れた工学技術の開発や、新しい移動体システム・社会システムの構築について発表し、課題解決のための具体的な提案を導き出すことを目的とするシンポジウムを開催し、種々の分野における先端技術と従来の移動体関連技術との融合が更なる低炭素化に不可欠であるとの結論を3カ国によるステートメント作成によって明確となった。これにより3カ国の連携が緊密なものとなった。

ア. 東アジア工学アカデミーシンポジウム開催

(<http://www.eaj.or.jp/eajnews/eajnews-j.html>)

日・中・韓3カ国の工学アカデミーが主催となるが、今回は日本が担当し、名古屋国際会議場にて、平成21年9月24日に開催した。参加者は日・中・韓とタイから参加があり、合計90名となった。シンポジウムのテーマは「低炭素社会におけるトランスポートセッション」であり、オープニングセッションは基調講演2件、以下3セッションに日・中・韓から1件ずつ発表。

2 予想される事業実施効果

3カ国の工学アカデミーの共同作業であるステートメントを公表することにより、広く産業界・学会・官庁からのリアクションを期待する。また個別には賛助

企業との懇談会にて内容について説明し、具体的な行動を期待する。東アジアの工学アカデミーのトップが同じ認識を持つことによって、国際連携・協力のベクトルが合わせやすくなり、東アジアとしての具体的プロジェクトを立ち上げやすくなる。

3 本事業により作成した印刷物・本事業により導入した設備

シンポジウム予告資料（第13回東アジア工学アカデミー円卓会議（EA-RTM）公開シンポジウム「低炭素社会におけるトランスポーターション」のご案内）

シンポジウム案内資料（シンポジウム：低炭素社会におけるトランスポーターション）

シンポジウムポスター（JKAポスター）

シンポジウム資料（Development of BEV -a strategy for low carbon economy）

ステートメント（Summary and Recommendations of the 13th EA-RTM Symposium on “Transportation toward Low Carbon Society”）

4 事業内容についての問い合わせ

団体名： 社団法人 日本工学アカデミー（ニホンコウガクアカデミー）

住所： 〒108-0014

東京都港区芝5丁目26番20号 建築会館4階

代表者名： 会長 中原 恒雄（ナカハラ ツネオ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 専務理事 山田 敏之（ヤマダ トシユキ）

電話番号： 03-5442-0481

FAX番号： 03-5442-0485

E-mail： academy@ej.or.jp

URL： <http://www.ej.or.jp>